

平成 28 年 11 月 28 日

第 14 回（11 月）

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

平成 28 年 11 月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 平成 28 年 11 月 28 日（月）午前 10 時 00 分

2. 場 所 41 号会議室

3. 出席委員

教育長	永尾 則行
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	泉 亜矢
委員	旭田 國浩

4. 出席事務局職員

教育部長	前田 修治	教育振興課長	北原 伸二
生涯学習課長	大神 英子	指導主事	児玉 伊左夫
指導主事	上原 泰	指導主事	米村 光生
給食センター 所長	田上 智子	学務係長	原口 富美
課長補佐兼社 会教育係長	畑山 鉄也	課長補佐兼スポ ーツ推進係長	浦浜 真宏
文化係長	吉村 麗月	産業振興課世界 遺産推進室主査	吉田 政博

- 教育長 ○開会宣言 平成 28 年 11 月 28 日（月）午前 10 時 00 分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名

1. 前回会議録の承認
2. 議案

【報告第 17 号「荒尾市教育振興基本計画アンケート調査結果について」(教育振興課)】

○事務局説明

【報告第 18 号「荒尾市旧万田坑施設保存整備活用検討委員会条例の制定について」
(産業振興課)】

○事務局説明（万田坑施設の修理にともない、その修理の手法等を専門家に検討してもらうための委員会の設置）

○質疑

教育長	本件について何かお尋ねはありませんか。
委員	なぜ、産業振興課からの報告が必要ですか。文化財の関係ということで教育委員会に報告するのですか。
事務局	本来、文化財の事業であり、基本的に、文部科学省、文化庁の直属の部署である教育委員会が文化係を管轄することになっているからです。また、万田坑が世界遺産となり保存と活用ということで、今年度から産業振興課に移った経緯があります。今回のように文化財を修復や現状変更したりする時は、教育委員会の文化財を通して文化庁まで報告をあげることになるので、このような形をとることになります。

【その他 12 月行事予定について】

○事務局報告

○質疑

各委員	特になし
-----	------

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第 15 回定例教育委員会は平成 28 年 12 月 22 日（木）午前 10 時から開催したいと思います。ご都合はいかがでしょうか。
委員	異議なし
教育長	それでは、次回の第 15 回定例教育委員会は平成 28 年 12 月 22 日（木）午前 10 時から開催します。

【その他：平成 28 年熊本県文化財功労者表彰について（生涯学習課）】

事務局	平成 28 年度熊本県文化財保護大会において市の文化財保護委員を務められた谷口良一氏が平成 28 年度熊本県文化財功労者表彰を受賞されました。平成 8 年度から平成 27 年度までの 20 年間、市の文化財保護委員を務められ、そのうち平成 16 年度から平成 27 年度までの 12 年間は文化財保護委員会会長を務められました。また、万田坑「語り部講座」講師を務めるなど文化財の周知啓発に貢献されました。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【その他：市立図書館臨時休館について（生涯学習課）】

事務局	熊本地震による影響で、事務室及び書庫の修繕をするため、12 月 28 日から 3 月 24 日まで臨時休館とします。これまで特別整理期間として行っていた書庫整理もこの期間に行ないます。工事が早く終われば、臨時休館の期間も短縮できると考えています。このことは、12 月の広報やホームページでお知らせします。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【その他 第 28 回孫中山・宋慶齡記念地連席会議参加について報告（生涯学習課）】

事務局	教育長、大神課長、野田主事、通訳 1 名で、11 月 21 日から 25 日までの 5 日間、中国中山市で行なわれた孫中山・宋慶齡記念地連席会議に出席しました。2 日目に、孫中山故居記念館を視察。その後、隣接する中学校を車中から見学しました。夜に事前会議を行い、そこで、来年度の開催地について議論されたが決まらず、再来年の平成 30 年度の神戸の孫文記念館での開催のみ決まりました。3 日目は、午後から連席会議があり、40 ほどの施設から 108 名が出席し、日本からは、荒尾市と神戸孫文記念館、長崎県が出席しました。その中で教育長が宮崎兄弟生家の最近の取組状況について発表をされました。そして、前日の事前会議で決まらなかった来年度の開催地が、孫文の曾孫が住んでいるロサンゼルスに決定しました。中国の人たちは、宮崎兄弟のことを皆さん知っていて、とても友好的でした。また、会議に出席していたシンガポールの方々とも話ができ、今後の交流に収穫の多い会議になりました。
教育長	今回の会議を宮崎兄弟の生家施設の展示等に生かして、近いところの市内や県内、九州内でもっと発信をしていき、宮崎兄弟の認知度をあげる取組をしていかなければならないと思います。
委員	子どもたちが、宮崎兄弟を学習していく中で必ず保護者にもつながっていきます。
委員	宮崎兄弟については、学校教育だけでなく、社会教育と両方で、特に社会教育のほうで取組や啓発活動を行っていかなければなりません。
委員	宮崎兄弟生家施設では、音と光の祭典を行なっているが、工夫すれば、先日行なわれた万田坑まつりみたいに集客できるのではないのでしょうか。

教育長

○閉会宣言 平成 28 年 11 月 28 日（月）午前 11 時 00 分

閉議 午前 11 時 00 分 書記 松井 敏彦

※下線部については非公開とします。

上記の会議の顛末について相違ないので署名する。

平成 年 月 日

教 育 長

教 育 委 員
